

査読論文差し替え（論文集「観光研究」）について

観光研究 34 巻 3 号（査読付き論文集、CD-ROM）に、執筆要項に合致していない（英文要約が未記載）論文ファイルが掲載されました。

小川 怜，十代田 朗，津々見 崇：ユネスコエコパークを通してみた持続可能な地域振興の可能性、観光研究、34 巻 3 号 pp. 89-98、2022 年 12 月

このような事象が発生した経緯・原因と対応について、下記の通り、ご説明致します。

1. 論文掲載までの経緯

- 1) 観光研究 34 巻 3 号に著者より投稿があったが、形式審査の段階で英文要約がついておらず、形式不備にともない事務局より著者に修正を依頼したところ、ルールに則ったファイルを著者自身が再アップロードした。（2022 年 5 月）
- 2) 一次査読後に提出された修正稿で英文要約の記載が無くなる。
（修正意見への対応で分量が増えたと思われるものの、除外された理由は把握できていない）
- 3) 最終判定時に英文要約がない原稿を「採用」と委員会で判断した。（2022. 9）
- 4) 3) の原稿が、CD-ROM に掲載され、全会員に配布された。（2022. 12）
- 5) JSTAGE への掲載作業中に英文要約の欠落が判明した。（2023. 5）
英文要約が欠落しているため投稿規程、執筆要項に適合しておらず、委員会としては適切に対処する必要があると判断した。

2. 原因

- a) 著者の錯誤、投稿規程の非順守。
- b) 最終判定時のチェック（上記 3））が十分ではなかった。

※論文の採否は、大会学術委員会の責任の下で判断される。a) が発生した場合、「修正意見への対応が不十分」や「投稿規程を遵守していない」ことによって掲載不可となることが一般的手順として想定される。このようなエラーは通常「掲載不可」として対処されるものであり、現時点で著者にペナルティーを科すことは適当といえない。

3. 本件への対応について

大会学術委員会での審議を行い、下記の①、②の対応を行うことと致しました。

- ①著者に英文要約が掲載されている原稿を作成いただき、訂正版論文ファイルとして JSTAGE に掲載する。その際、訂正履歴を残すものとする。
- ②本件について、会員に次回発行する機関誌、ならびにメルマガで概要を周知するとともに、学会 HP に詳細を掲載する。

このように判断した理由は、下記のとおりです。

- ・英文要約への査読意見はない一方、その他の部分については修正意見に適切に対応していたため、査読付き論文として登載するにあたっての要件は満たしていたこと、

- ・数多くの論文を極力採択する方針のもと、これまで形式が違反した原稿について、事務局より修正を依頼して査読等を行ってきたため、同様の対応を取りたいこと、
- ・今回の場合、英文要約のため、発表内容の改変には至らないこと、
- ・J-STAGEの方が広く見られ参考にされる可能性があること、
- ・形式チェックの中で見落としてしまったという委員会側にも非があること、

なお、上記事象は、大会学術委員会における査読や論文採否判定が十分ではないことが原因であり、会員をはじめ関係各位にお詫び申し上げるとともに、委員会において再発防止策を講じます。なおJ-STAGEでは、執筆要項に適った論文ファイルに差し替えをおこなうため、当該論文を参照する際には、CD-ROMではなくJ-STAGEで閲覧するようによりしくお願い申し上げます。

2023年6月21日 日本観光研究学会大会学術委員会